

第3章 基本戦略と基本施策
---------------

## 1. 地域固有の資源を強みとした取り組みの戦略と施策

項目	水原地区	笹神地区	安田地区	京ヶ瀬地区
自然・登山・ハイキング	瓢湖、大日原	五頭山、菱ヶ岳、湧水、やまびこ通り、キャンプ場	宝珠山、阿賀野川、大蛇山赤松山森林公園キャンプ場	阿賀野川
歴史・伝承・伝統文化	水原城址、水原代官所、天朝山、盆踊り	笹岡城跡	安田城跡、三度栗、裸参り	八つ房の梅、珠数掛け桜 猫山のアイス裸参り
生活・町並み	水原六斎市 本町商店街、蔵・土蔵		保田六斎市	
産業観光・レジャー施設	酒造蔵元	豆腐工場（大豆加工体験施設）	椿華園、ヤスダヨーグルト、安田瓦サントピアワールド	
温泉・宿泊施設	リズムハウス瓢湖	ラジウムの五頭温泉郷、共同浴場、露天風呂	宝珠温泉、安田温泉、新咲花温泉	
食べ物等	和菓子、日本酒、油揚げ、コシヒカリ、ラーメン	ゆうき野菜と米、地ビール、醤油、味噌、豆腐、コシヒカリ、そば	牛乳、ヨーグルト、笹団子、三角油揚げ、和菓子、コシヒカリ、ラーメン、こんにゃく	コシヒカリ

工芸品	三角だるま、染物	美夜之焼、笹神焼、五頭焼、七宝焼、竹細工	庵地焼、安田焼、石材	なわじ君
花	瓢湖の桜、あやめ、ハス	うららの桜	新江の桜、久保山水きん公園の桜	下里の桜 コスモス
神社仏閣	無為信寺、長楽寺、八幡宮、菅原神社	華報寺、優婆尊、旦飯野神社、諏訪神社	観音寺、寺社観音堂、庚申様、孝順寺、八幡宮	梅護寺、八幡神社

## 2. 阿賀野市に誇りと愛着を持つ取り組みの戦略と施策

- ・市営バスを利用した市内観光めぐり（春夏秋冬）
- ・ラムサール条約登録湿地瓢湖ブランドの活用
- ・各地区の交流拠点整備
  - （水原地区） 瓢湖周辺、本町商店街
  - （笹神地区） 五頭温泉郷、うららの森
  - （安田地区） 庵地地区（焼きものの町）
  - （京ヶ瀬地区） 梅護寺周辺
- ・阿賀野市の歴史、花、食、湧水、歌碑・句碑めぐり
- ・ “ 観音札所めぐり（蒲原三十三観音）

## 3. 交流人口の拡大を目指す取り組みの戦略と施策

（接遇、施設整備、おもてなしの向上）

- ・アンケート調査の実施
- ・接遇研修の実施
- ・登山道、自然遊歩道の整備（山岳リゾート観光地）
- ・各種イベントへの支援

（旅行者の利便の増進）

- ・観光ガイド、白鳥ボランティアガイドの養成
- ・ユニバーサルデザインによる案内看板の適正設置
- ・ホームページ、ガイドブック、パンフの作成  
（タクシー会社、コンビニ、GS、病院、銀行、インター出口、駅、高速道SAなど）

- ・ 公共施設等のバリアフリー化の推進
- ・ 市内観光施設の連携（割引やセット料金 お得感覚）
- ・ 携帯電話機能を活用した情報提供（QRコードの活用）

（新たな観光旅行分野の開拓）

- ・ ニューツーリズム(エコ、グリーン、ヘルス)の推進
- ・ 産業観光の推進(試食、試飲、ブルーベリー摘み)
- ・ 文化観光の推進(知的欲求を満たす)
- ・ スポーツ大会、スポーツ合宿の誘致
- ・ 地域食材を活用した新メニューの開発
- ・ 広域連携及び高速道を活用した新メニューの開発

4. 推進体制及び評価システムの構築

（推進体制）

- ・ 戦略のイベント化、モデル化、ボランティアガイドの育成
- ・ 食べ物による情報発信（バイキング料理、おにぎり大会）  
リピーターを増やす  
宿泊者の夕食後の過ごし方（芸能、ホタル見学）

（評価体制）

- ・ 観光戦略プランの推進状況及び誘客等の評価をチェックするため、委員 10 名による委員会を組織する。



## 戦略1 「健康づくりと食のまち」の推進

阿賀野市には、豊かな自然と環境保全型農業の推進によって生産されるおいしくて安全安心な農産物（食材）や加工品がたくさんあります。観光客のニーズは地域の旬の食材を使った郷土料理やそこにしかない食べ物を求めています。

このため、温泉と食を組み合わせた健康づくり（ヘルス・ツーリズム）を推進します。

### （基本施策）

- ・郷土料理や伝統料理、薬膳料理のグレードアップを図ります。
- ・地場産の食材を使ったお土産用お菓子などの特産品開発を進めます。
- ・素朴な家庭料理の掘り起こしを行い、新メニュー化を目指します。
- ・地元の食材を使ったマコモダケなど体に良い新しい料理や健康加工食品の開発に努めます。
- ・市内旅館、飲食店の、特に街中商店街の“まるごとレストラン化”を図り「食べ歩きマップ」を作成します。



## 戦略2 「もてなしの心とコミュニケーション」の醸成

街角や観光地、宿泊施設などでのおもてなしの言葉や笑顔、特にその地方独特の方言は、誰もが心が和み印象に残ります。また、訪れる皆さんは地域の方々との交流を求めています。このため市民が一丸となって「あいさつ運動」や「声掛け運動」を展開し、誰もが気楽に話し合える人情味溢れる明るいまちづくりを進めます。

もてなしの「五つの風」風景・風光・風味・風習・風土（風情）

(基本施策)

- ・旅館業者の接客マナー研修会を定期的を実施します。
  - ・商店街の「どこでもトイレ」などおもてなし運動をできることから実施します。
  - ・白鳥ガイドなど観光ボランティアガイドの育成を図ります。
  - ・県外ナンバーのバスを見たら、手を振る。



戦略3 「体験交流による滞在型観光(ニューツーリズム)」の推進

滞在型観光を推進するため、豊かな自然環境と地域の特性を生かした多様な体験メニューを充実させ都市と農村の交流を図ります。

また、時代に対応したニューツーリズムや産業観光等の新しい観光プログラムを創出します。

エコツーリズム(自然環境や歴史文化 資源の保全)  
グリーンツーリズム(自然、文化、交流 余暇活動)  
ヘルスツーリズム(温泉、自然、健康料理 健康づくり回復)  
産業観光(歴史的・文化的価値のある工場や最先端の工場見学)

(基本施策)

- ・JAやNPOと協働し、自然の中での農作業体験や生き物調査、田舎生活体験などの受け入れ体制の整備充実を図ります。
- ・ブルーベリーなどの観光農園(体験もぎ取り園)の整備充実を関係者と一体となって進めます。
- ・田舎や自然空間を持たない都市の小中学生へのビオトープ教育のため、フィールドの提供及びインストラクターによる指導を行います。
- ・森林ボランティアの確保・育成を図ります。
- ・産業観光を推進するため、地元企業の施設内見学と体験の体制

整備を図ります。

- ・長期滞在（1～2週間）施設（空き家など）の確保と提供を図ります。

- ・中心商店街まるごと体験館としての体制化と人気商品の開発を進め、瓢湖見学と温泉街とのルートの構築を目指します。
- ・旅館等宿泊客を六斎市などへ誘導し地域住民との交流を促進します。



#### 戦略4 「環境保全による観光美化運動」の強化

阿賀野市の四季それぞれの美しさ、魅力を提供するため、観光地の景観及び施設の環境美化運動を推進します。

また観光旅行者の利便を図るため、観光案内表示や多言語表記、バリアフリー化を進めます。

（基本施策）

- ・各種観光施設等の環境美化活動を推進し景観向上に努めます。
- ・街中商店街のトイレ整備、清掃美化、プランター植栽運動などを推進します。
- ・道路における観光案内表示の充実を図ります。
- ・各施設のバリアフリー化と外国人向けの多言語表記を進めます。

#### 戦略5 「人材の育成確保」の推進

観光推進のためには、先導役や各種部門におけるスペシャリスト・リーダーの存在が欠かせないことから、人づくり及び人材確保を重要課題として取り組みます。

（基本施策）

- ・歴史や文化、風土などに精通した

観光のプロフェッショナルの育成を進めます。

- ・各種体験のインストラクターや観光ガイドの確保、育成を進めます。
- 団塊世代の専門的な人材募集
- 講座の開設（生涯学習課との連携）



## 戦略6 「情報発信の体制と誘客活動」の強化

交流人口の増加を図るには、常に情報発信をし続けなければなりません。市や観光業種等のホームページやあらゆるマスメディアを活用し“迅速でわかりやすい”情報発信に努めます。また、特産品を扱う商工業や旅館などの観光業だけではなく、市民（知人への口コミPR）や商工会、JA、市職員など自らが全員セールスマンとなって誘客活動に取り組みます。

（基本施策）

- ・マスメディア（テレビ・ラジオ・新聞等）を活用した宣伝活動やJR、高速道路サービスエリアなどでの宣伝活動を拡大展開して行きます。
- ・インターネット（光ファイバー）を最大限に活用し、最新情報をスピーディーにホームページやブログで提供するシステムを構築します。
- ・外国語表記の観光案内看板の整備充実を図ります。
- ・旅行業者、代理店等エージェントへのPR活動を強化します。
- ・新潟総合生協などの観光関連部門との連携によるプラン立案と誘客活動を積極的に進めます。
- ・各施設等でのアンケート調査を継続実施して観光客のニーズ、改善点を把握し、新たな観光ルートやプランの作成に生かします。
- ・県人会や友好都市との連携による誘客活動に取り組みます。
- ・写真コンテストの開催により、情報発信と誘客を図ります。

## 戦略7 「広域観光化の取り組み」の推進

県内には多くの観光資源が豊富にあり、各市町村が連携した広域観光

化を進めることによって、一層の交流人口の拡大が図られます。

(基本施策)

・阿賀野川や五頭山などの観光資源を共有する市町村との連携強化を図ります。



化を図ります。

- ・隣接する市町村とそれぞれの観光資源を提供し合いながら、広域観光ルートの実現を図ります。
- ・新潟県観光協会への情報提供や提案等の連携を強化し、交流人口の拡大に努めます。
- ・「大観光交流年」に伴い、羽越・会津列藩同盟で観光連携を深めます。

